

資料1-5

●がん患者等への支援（がん患者等支援部会）

①相談支援及び情報提供

めざす姿	<p>■最終目標 すべてのがん患者やその家族が、不安や悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を受け取ることができ、その悩みや疑問が軽減している。</p> <p>■中間目標 がん患者やその家族に必要な情報が届き、質の高い相談支援が受けられる体制が進んでいる。</p>
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援機能の強化 患者目線での情報提供の充実
会議の実施	令和元年7月10日、2月頃（予定）
令和元年度計画	<ol style="list-style-type: none"> がん患者・家族への相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 保健所における患者サロン等の実施（2回×3HC） 拠点病院等のがん患者サロン運営者会議の実施（6/6実施） がん患者・家族への情報提供事業 <ul style="list-style-type: none"> イベント（ルフォーライヴ ھاノ奈良,9/28-29）会場での情報発信 ライフステージ等に応じた相談体制整備事業 <ul style="list-style-type: none"> がん相談支援センター・保健所相談員等研修会の実施 小児がん患者の家族等交流会（1/19予定） （新）がんピアサポート支援活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> がんピアサポーター養成研修の実施（20名）

第3期奈良県がん対策推進計画 目標の進捗状況について

■ 基準値と比較して改善していない

■ 基準値と比較して改善している

3. がん患者等への支援 (1)相談支援及び情報提供

分野	分類別目標	指標	現状値 (基準値)	H30年度	目標値	出典	
3 がん患者等への支援							
(1) 相談支援及び情報提供							
最終目標	がん患者の不安や悩みが軽減されている	がんと診断したことによる心配や悩みは何らかの支援によって現在は軽減した	36.4% (H29)	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査	
	がん患者の不安や悩みの発生が抑えられている	からだや治療のことで心配になったとき、担当医以外にも相談できるところがある	32.3% (H29)	-	増加		
中間評価	がんに関する情報が得やすい体制ができている	がんに関する情報	29.4%	-	減少	ならのがんに関する患者意識調査	
		がんの治療方法についての情報が不十分	22.3%				
		病院の診療体制や治療状況についての情報が不十分	37.0%				
		緩和ケアについての情報が不十分	43.7%				
		がん治療にかかる費用についての情報が不十分	44.4%				
がん患者やその家族等が、質の高い相談支援を受けられる体制ができている	がん相談支援センターを利用して、相談が役に立った	100% (H28)	98.1% (H29)	現状維持	がん相談支援センター利用状況調査		
	がん相談支援センターの利用者数(9病院)	5,880件 (H28)	7,064人 (H30)	増加	奈良県調べ		
施策目標	相談支援機能の強化	相談支援センターの認知度	51.8% (H29)	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査	
		国立がん研究センター研修【指導者研修】を受けた相談員数	12人 (H25-29)	研修実施なし	増加	奈良県調べ	
		県内相談員対象の研修会の開催回数	1回 (H29)	1回 (H30)	実施継続	奈良医大調べ	
		がん患者サロンの利用者数	801人 (H28)	867人 (H30)	増加	奈良県調べ	
		がん患者サロンの認知度	50.2% (H29)	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査	
		がん患者サロン運営会議の開催回数(各拠点病院)	8回 (H28)	6回 (H30)	実施継続	奈良県調べ	
		がん患者サロン運営者会議の開催回数	2回 (H28)	1回 (H30)	実施継続		
		ピア・サポーター養成数	48人 (H29)	-	増加		
		患者目線での情報提供の充実	「がんネットなら」の認知度	11.3% (H29)	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査
			「がんネットなら」のページビュー数	69,241件 (H28)	60,721件 (H29)	増加	奈良県調べ

■サロン運営者会議

- 趣旨
 - ・「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」（平成30年7月31日付け健発0731第1号）では、医療関係者と患者会等が協働で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援を行うことが要件として明記されており、各病院においてもピアサポーターと連携し、がん患者サロン運営に取り組んでいただいている。
 - ・がん患者サロンの運営状況についての情報共有及び情報交換を目的にサロン運営者会議を実施。
- 対象
 - がん患者サロンを運営する拠点病院及び保健所の担当者

●内容

日時・場所	会議内容	出席者
令和元年6月6日（木） 13:30～15:00 かしはら万葉ホール（視聴覚室）	●がん患者サロンの運営についての報告・情報交換 ●奈良県の取組及び今年度の計画について	14名

- 概要
 - <がん患者サロンの運営についての報告・情報交換>
 - ・がん患者サロンは、拠点病院等9病院と3保健所で実施。
 - ・H30年度のサロン利用者数は867名であり、増加傾向である。
 - ・がん相談件数は9病院全体で7,064件であり、増加傾向である。
 - ・ピアサポーターが不在もしくは不足しており、活動中のピアサポーターへの負担が大きいとの課題やサロンへの新規参加者が伸び悩んでいるとの課題があり、対応策について検討を行った。
 - <奈良県の取組及び今年度の計画について>
 - ・奈良県の取組及び今年度計画については、P.1参照。
 - ・拠点病院等では、AYA世代の患者を対象としたサロンの開催や女性がんグループや家族遺族グループ活動への支援を行う等の取組や、サロンや相談窓口の周知方法を見直すなど、新規利用者数増加を目指した取組についても計画されている。



■保健所がん患者サロン 令和元年度計画

- 目的
 - ・がん体験者同士が体験や感情を共有することによるサポートは、がん患者やその家族にとって大きな支えになることから、がん患者やその家族が相互に交流・情報交換することを目的にがん患者サロンを実施する。
- 対象
 - 県内に居住するがん患者及びその家族等
- 内容

	実施機関	日時	内容
がん患者サロン等	中和保健所	令和元年6月29日（土） 13:30～16:00	■講演会「がん医療における『笑い』をかかぐする」 講師：大阪国際がんセンター がん対策センター所長 宮代 勲氏 甲南大学知能情報学部教授 灘本 明代氏 ■交流会
		令和2年1月頃（予定） 14:00～16:00	■交流会
	郡山保健所	令和元年7月30日（火） 13:30～15:50	■講演会「つながろう!乗り越えよう! ～安心して療養生活を送れるために～」 講師：天理よろづ相談所病院 がん相談支援センター看護師長 松尾 理代氏 ■交流会
		令和元年10月30日（水） 13:30～15:50	■交流会
	吉野保健所	令和元年7月12日（金） 13:30～16:00	■交流会
		令和元年12月13日（金） 13:30～16:00	■講演会「笑いヨガ～身体にもたらす笑いの効果～」 講師：吉野病院院長 福岡 篤彦氏 ■交流会



令和元年度 小児がん患者の家族等交流会

奈良県では、2回目の開催となりました。
小児がんからAYA世代（15～39才）のがんについて学ぶとともに、療養生活や就学のこと、家族の困りごとなど、さまざまな思いを語り合ってみませんか？

参加
無料

対 象 : 県内在住の小児がん患者の家族等

日 時 : 令和2年1月19日(日) 14:00～16:30

場 所 : 奈良県社会福祉総合センター 5階 研修室A
※託児はありません

内 容 : ○講演(座長:奈良県立医科大学附属病院小児科 石原 卓先生)
「小児・AYA世代のがんー特徴・課題・対策ー」
講師:大阪国際がんセンター 中田 佳世 先生

○交流会

●申込み・問い合わせ先●

奈良県福祉医療部医療政策局
疾病対策課 がん対策係

TEL: 0742-27-8928

FAX: 0742-27-8262

申込み〆切: 1月10日(金)



・会場へは、公共の交通機関をご利用ください。
・車の場合は、センター西隣にある市営有料駐車場を利用ください。



②がん患者の就労を含めた社会的な問題

めざす姿	<p>■最終目標 がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減され、働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。</p> <p>■中間目標 県民や事業者のがんやがん患者に対する理解や支援が進んでいる。</p>
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実 がん患者の治療と仕事の両立体制の整備 就労を含めた社会的な問題等の情報提供の充実
会議の実施	令和元年7月10日、2月頃（予定）
令和元年度計画	<p>1. がん患者への就労相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者向け研修会での周知（奈良県のがん対策、就労支援の取組について） 就労支援関係者の情報交換会の実施 職場環境調査の実施 労働時報（雇用政策課所管）の実施 奈良県社員・シャイン職場づくり推進事業での「がんネット」ならでの好事例の掲載 <p>2. 国によるがん患者等への就職支援、両立支援への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○奈良労働局 <ul style="list-style-type: none"> 長期療養者就職支援事業（ハローワーク大和高田、奈良県立医科大学附属病院出張相談） 治療と仕事の両立支援に関するガイドラインの周知 ○奈良産業保健総合支援センター <ul style="list-style-type: none"> 事業者や患者（労働者）からの両立支援に関する相談及び個別調整支援 事業主や産業保健関係者向け研修会の実施 両立支援対策の普及促進のための個別訪問支援

第3期奈良県がん対策推進計画 目標の進捗状況について

■ 基準値と比較して改善していない
■ 基準値と比較して改善している

3. がん患者等への支援
(2) がん患者の就労を含めた社会的な問題

分野別目標		指標	現状値 (基準値)	H30年度	目標値	出典
分野	目標					
(2) がん患者の就労を含めた社会的な問題						
最終目標	がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減されている	がんの治療を受けながら、働き続けられる環境だと思える	29.1% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査
	がん患者が働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる	がんと診断され、検査や治療が進む中、仕事の継続に対する事業主の理解・支援が受けられた	78.9% (H29)	—	増加	
中間評価	事業所と医療機関、県、国（労働局等）の有機的な連携が一層推進している	仕事と治療の両立支援体制のある事業所の割合	75.3% (H28)	—	増加	職場環境調査
	がん患者に仕事と治療の両立についての必要な情報を提供できている	がんで初めて治療・療養したとき、一定期間（連続して3カ月以上）仕事を休み、復職、復帰した	37.6% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査
施策目標	がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実	就労相談の実施回数、利用者数	27回/40人 (H28)	27回/46人 (H30)	増加	奈良県調べ
		情報交換会の実施回数	1回 (H29)	未実施	継続実施	
		医療従事者の研修会実施回数	1回 (H28)	1回 (H30)	増加	
		リーフレットの配布部数（就労支援相談窓口）	—	7,000部作成 (H30)	増加	
		就労相談窓口の認知度	10.8% (H29)	—	増加	
		就職相談窓口の認知度	7.4% (H29)	—	増加	
	就職相談の実施回数、利用者数	27回/30人 (H28)	52回/42人 (H30)	増加	奈良県調べ	
	がん患者の治療と仕事の両立支援体制の整備	職場環境調査の実施結果の公表	H25、H28 公表済み	—	実施、公表	—
就労を含めた社会的な問題等の情報提供の充実	「奈良県社員・シャイン職場づくり推進事業」のがん治療と仕事の両立支援企業登録数	3件 (H28)	6件 (H30)	増加	奈良県調べ	
	情報発信した好事例の企業数	—	未実施	増加	—	